



UDL 通信

新潟市立小須戸小学校

UDL 推進部

No.3

令和3年6月28日

タブレットが授業と家庭学習を繋ぐ

昨年度よりもUDLが推進できる環境が整いました。それは、タブレットが1人1台整備されたからです。勿論タブレットがないと、UDLができないわけでもありませんが、個人持ちになったことでタブレットを使う機会が大幅に増え、複数のオプションを提供できるようになりました。一方、授業でタブレットのよさを実感した子どもたちも家に帰って家庭学習をするときは、昨年度と同じ状況で、オプションが少なく、授業と家庭学習とで学びやすさの分断が起きていました。しかし、タブレット持ち帰りが高学年が6月22日から実施、低・中学年が7月8日から始まります。授業でも家庭学習でも途切れなくオプションを提供できる体制が可能になります。従来の家庭学習にとらわれず、新しい家庭学習を創造するチャンスです。



夏休みの課題のバリアは何か?!

教務より夏休みの課題についての保護者向けのお便りが職員に配付されました。教務が示したからやるのではなく、担任一人一人がUDLを生かした夏休みの課題はどんな課題なのか考えることが大切だと思います。今年度はタブレット持ち帰りを伴いますが、基本方針はこれまでのUDLの考えと一致します。右のお便りはほぼ1年前の4年生の学年便りです。夏休みの課題の取組が書かれています。「子どもが興味・関心があることに取り組む」「ゴールを明確にして、自分に合ったやり方で取り組んでいく」これらは教務が出した方針と一致します。今年度は学校全体で取り組み、それぞれの学年が子どもたちの実態に応じたオプションを用意します。学年部のUDL推進部員を中心に、夏休みの課題においてどんなバリアが想定されるか考えるところから始めてみましょう。



第4学年便り

新潟市立小須戸小学校

4学年

No.13

令和2年 7月22日

ONE TEAM

夏休み特集！学年集会を開きました！

第3回学年集会

- * けてぶれをつづけよう！
- * 自由課題を楽しもう！
- * すてきなPOPをつくろう！
- * 夏の一言日記

学年集会では、4つのことについて話しました。「すてきなPOPをつくろう！」「夏の一言日記」は学年便りNo.12に詳しく書いてありますので、ご確認ください。今回の学年便りでは、残りの2つについて集会で話したことをお伝えします。

けてぶれをつづけよう！

学年で取り組んできた「けてぶれ」ですが、子どもたちにもだいぶ浸透してきました。そして、「自学が楽しい！」「今までよりもよい点がとれるようになった！」という声も聞こえてきました。せっかく効果が出てきたけてぶれを夏休みも続けたいです。夏休み明けに4年生で習った漢字と計算のまとめテストをあることを伝え、そのために、夏休み中も毎日漢字・計算ドリルを使って、小サイクル（計画→テスト→分析→練習）を続けることを確認しました。休み中に自分の学習方法が合っているか、確かめるために、「大テスト」をやることも伝えました。大テストは、まとめテストと同形式のプリントです。よい点が取れば、今のやり方を続け、よくなかったら、学習方法を変えます。大テストの設定時期を示しましたが、あくまでも目安です。お子さんと相談しながら、やる日を決めてください。

休み中に自分で大テストを
夏休み中に大テストを2回
1回目8月2日から8日
2回目8月16日から22日
このテストで100点なら、
けてぶれがじゅん調です！

自由課題を楽しもう！次の博士ちゃんは君だ！

たん究コース

け 計画を立てる

て やってみる

ぶ 分せき・ふり返りをする

れ もう一度チャレンジする

全国の「博士ちゃん」を紹介するテレビ番組を少し見ました。子どもたちに伝えたかったのは、自分にとって「楽しいことをしよう！」ということ、そして、それが「自分の生活のすぐそばにあることかもしれない！」ということです。小須戸小学校は、今年も1ヶ月以上の長い夏休みがあります。この機会に、夏休みしかできない素敵な自由課題を子どもたちが見つけられることを楽しみにしています。

この自由課題も「けてぶれ探求コース」を活用できそうですが、まずは、お子さんの楽しいことをする優先してください。一人ではなかなかうまくいかないこともあると思います。できる範囲でお子さんの自由課題を見守っていただきますよう、お願いします。